

新連載 サイエンス読書カフェ

店主の独りごと

日本科学技術ジャーナリスト会議会長・元読売新聞編集委員

小出重幸



教授室に入ったとたん、「すべての書物は教養に通ず」という色紙が目飛び込んできました。火山が噴火し、

その噴煙を描いた中にこのメッセージが書かれています。

すが、じつと見極めて、なるほど、確かに、とうなずくものがありました。

教養の書店 噴煙のメッセージ

イェンス読書カフェ」が、よみうり大手町スクールの講座として「開店」しました。その店主を

仰せつがっているのです、科学の書も教養に通じますよと、声を大にして言わなければならぬ立場だからです。

この色紙を書いたのは、火山学者の鎌田浩毅・京都大学教授です。

優れた地球科学者であると同時に、科学と社会の間をもっと緊密につながらなければならない、科学者はみんなの興味を引くように分かりやすく発信しなければならぬ、という信念の持ち主。日本のこれまでの科学者、技術者にはほとんど見られなかったキャラクターです。

私たちの生活や人生が、科学や技術に大きく影響されるよう

は、「地球の歴史」を使いました。

このカフェでは、できるだけ著者に参加していただき質疑や討論を進めたいと考えています。鎌田教授は日程が取れず、研究室で日本人をインタビューした様子を皆さんに伝えました。

著者に話を聞いたり、直接尋ねたりする機会はありません。

特に科学関係となればなおさらですが、このカフェでは、「ウニは

すこい、バッタもすこい」(中公新書)の本川達雄さん、環境学者の中西準子さん、数学者の秋山仁さんなどをお招きして、活発な討論を広げていただいています。

9月は解剖学者、三木成夫さんの「胎児の世界」(同)がテーマですが、三木さんは1987年に亡くなっており、東京芸大時代の教え子であった現代美術家の



鴻池朋子さんをゲストに、科学、そして絵画の世界を語っていただく予定です。

鎌田教授は「読書論 本棚を見たら人生がわかる」(仮タイトル)を執筆中です。出版されたら、改めてカフェにご登場いただこうと思っています。



小出重幸(こいでしげゆき) 1951年東京生まれ。科学ジャーナリスト。北海道大学理学部

卒。元インベリアルカレッジ・ロンドン客員研究員。政策研究大学院大学(GRIIP)客員研究員。昭和薬科大学講師。